

# 第18期議会始まりました

## 5月2日初議会

### 役職決定



第18期議会の議員が決まり、初議会で役職を決定しました。  
議員任期は、令和5年5月1日から令和9年4月30日までです。  
役職任期は、申し合わせにより令和7年4月30日までの2年間となります。

#### ◎議長

9番

勝山 正  
(かつやま ただし)

3期目 糠千



#### ○副議長

8番

山崎 栄喜  
(やまざき えいき)

2期目 稲荷



1番

関 達夫  
(せき たつお)

1期目 西町



2番

湯本 直木  
(ゆもと なおき)

1期目 大町



3番

湯本 行浩  
(ゆもと ゆきひろ)

1期目 市之割



4番

山本 隆樹  
(やまもと たかき)

2期目 中町



5番

山浦 登  
(やまうら のぼる)

2期目 中島



6番

丸山 邦久  
(まるやま くにひさ)

2期目 山口



7番

江田 宏子  
(えだ ひろこ)

6期目 北鴨



議席番号

氏名

(ふりがな)

議員期数 地区名

#### 議会運営委員会

委員長 山浦 登 副委員長 関 達夫

委員 江田宏子 山本隆樹 丸山邦久

※このほか、議決権のない会議出席者として、議長・副議長がいます

議会の運営（日程、付託する常任委員会など）について審議します。

#### 予算決算常任委員会

委員長 江田宏子

副委員長 山本隆樹

※委員は全議員です。

予算決算に関わる議案を審議します。

# 議会

No.253



議会に対するご意見  
をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111  
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会  
編集：議会だより編集委員会

### 総務民生文教常任委員会

委員長 江田宏子 副委員長 丸山邦久  
委員 関 達夫 湯本直木 山崎栄喜

総務課・民生課・教育委員会に関わる議案を審議します。

### 産業建設常任委員会

委員長 山本隆樹 副委員長 山浦 登  
委員 湯本行浩 勝山 正

産業課・建設課に関わる議案を審議します。

### 議会だより編集委員会

委員長 江田宏子 副委員長 山本隆樹  
委員 関 達夫 山浦 登 湯本直木 湯本行浩

### 議会選出監査委員

湯本直木

## 令和5年4月第2回臨時会(第17期最終議会) 4月28日

補正予算など8議案を審議し、すべての議案を全会一致で可決しました。

### 令和5年度一般会計補正予算(第1号) 1,504万円減額(総額37億1,497万円) ※千円以下四捨五入

#### 一般会計 主な歳出(▲は減額)

- 民生費 269万円(国県費含む)
  - ・子育て世帯・ひとり親世帯生活支援特別給付金
- 教育費 58万円
  - ・小学校(軒天)の修繕費

#### ◆工事請負契約の締結について

- ・契約目的 中学校の外装改修工事
- ・契約金額 8,690万円
- ・相手方 サンタキザワ・野沢総合・小野澤  
特定建設工事共同企業体

#### ○公債費 ▲1,628万円

- ・やまびこの丘公園施設有償譲渡に伴い予定していた辺地債が、繰上げ償還ではなく通常償還となったため。

#### ◆カヤの平高原保健休養施設の指定管理者の指定について

- ・団体名 合同会社シュタイン
- ・指定期間 令和5年5月8日から  
令和8年3月31日まで

## 「令和5年3月定例会 審査意見」に対する村の対応

委員会審査の結果で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。(要旨抜粋)

**意見1** 村民の生命・財産を守る使命の行政として、公共福祉を更に進展され、この議案の執行による村民及び村の損失を未来永劫発生させないことに留意されたい。

**対応1** 観光施設民営化に伴う財産処分等は、民間活力により村の観光産業の振興と、公共施設の維持管理に対する村民負担の軽減を図るものである。今後も公有財産の適切な維持管理保全と村民福祉の向上に努めていく。

**意見2** 中学校校舎修繕、施設更新に多額の予算が計上されている。公共施設等総合管理計画の計画進行より、実際の人口減少、特に若年者の減少が著しい。予算編成に基金取り崩しをしている状況が続き、財政のひっ迫は非常事態である。施策の執行に対し、迅速な判断が、将来の村の財政ひっ迫を緩やかにできる可能性が高い。予算執行に当たり、的確な判断をされたい。

**対応2** 木島平中学校校舎は、昭和54年に建設されて以降44年が経過し、平成10年に耐震改修工事は実施したものの、近年は雨漏りし、屋根や外壁を中心に老朽化が進んでいる。教育環境の充実は大変重要であり、生徒の学習環境の維持と安全安心の面からも早期に改修工事を実施すべきと判断。少子化や人口減少は、教育施設に限らず、インフラ施設を含むすべての公共施設に関係するもので、公共施設等総合管理計画の見直しについては、全施設を対象に進め、今後の維持管理等の方針の変更も含め適切に判断していく。



# 村の事業推進に当たって村民に十分な説明を

山浦 登議員

## 村長3期目の政治姿勢を問う

質問

村長就任3期目、今後4年間どのような姿勢で村政を進められるのか。議会での答弁が「検討する」「適切に対応する」等、具体性に欠ける答弁が多いとの指摘があるが。

村長

どんな村づくりと言われれば「住んで良かった」「これからもずっと住み続けたい」村づくり。

議会での答弁は重要な課題であればあるほど即答できるものではない。財源や組織体制、効果や公平性も考えなければならぬ。

## 令和5年度予算案について

質問

「公共施設等総合管理計画」「財政計画」により多額な支出が見込まれている。根本的な財政改革が必要と思われる。

村長

各計画の見直しを進める。限られた財源の中で重点課題に取り組みながら、村民福祉の向上を進めるためにも継続して行財政改革に取り組み

効率的、効果的な行政運営を進めていく。

丸山総務課長

事業執行する段階でも内容を精査し、歳出抑制に努める。

## 防災対策について

質問

ハザードマップが改定され、村民に配布された。マップで示され、見直された災害や被害想定に対する対応は。

村長

村民の大切な命を守るために、想定される被害エリアを把握するマップ内容の周知は重要と考える。

丸山総務課長

村民の皆様にはハザードマップで、地域や住宅、自宅周辺の災害の危険性と避難所の位置、避難経路を確認いただきたい。

## 観光施設民営化について

質問

以前「契約締結後でも村民の意見・要望等を聞き、相手の会社との仲介をしていく」と答弁されたが。

村長

引き続き村が間に入り、調整すべ

き事項も多い。

再質問

譲渡後、村民の希望に沿った事業運営が行われるのか、心配する声が上がっている。将来に渡り契約書を補足するために協定書、覚書等、文書で取り交わす必要があると考えるが。

湯本産業課長

土地の利用継続は、最長の10年で先方とも協議を進めている。また、事業の継続性も併せて10年で契約をする予定。法律上の上限である年数ということを理解いただきたい。

再々質問

10年以降はどうなるのか、非常に心配される。村民感情とすれば、10年以降は相手方の方針でそのまま進められて、村民の希望が十分に叶わない状態でも非常に困る。文書でそれを補うことができないか。

村長

民法上の制約ということである。契約書はもちろん、覚書であっても11年目以降について文書で取り交わしても、民法上は実質的には無効になつてしまうという制限がある。また、22日の説明会では社長自らが

「将来的に経営が行き詰まった場合、村に無断で土地を処分するとか、そういうことはしない」と明言をしている。しっかりとその約束を守ってもらおう形で継続を進めていきたい。

## 小・中学校の学校給食無償化について

質問

学校給食費無償化は、何回か取り上げて実施を要望してきた。今年度一部無償化で予算化され、実施されるが。

村長

令和5年度において村から補助を行い、補助率は25%くらいになる。保護者負担の軽減をしていきたい。

## 高齢者の補聴器購入への補助について

質問

高齢者が難聴により外出を控えたり、敬遠することで交流機会が少なくなり、認知症発症のリスクが高まると言われている。生き生きと生きがいのある日常を過ごしていただくために、高額な補聴器購入費の補助ができないか。

山崎民生課長

限られた財源の中でほかにも要望があるので、村単独事業の導入の前に、まず、他市町村の取組みや国の動向を注視したい。



# 村民のための村づくり

## 村民の将来を考える

勝山 卓 議員

### 村民のための村づくりを目指して

村長の3期目の公約に「村民のための村づくりを目指す」と挙げられている。村の活性化や、持続可能な村政の実現に向けての取組みを伺う。

- ① 選挙を通じて、村民の観光施設民営化についてどう受け止めたか。
  - ② コロナ禍で打撃を受けた産業振興をどう取り組んでいく考えか。
  - ③ ここ5年間の平均出生数は20人を割っている。最重要課題とした少子化対策を挙げているが、どのような取り組みを考えか。
  - ④ 財政の健全化に向けた予算編成となっているか。今後の事業展開は。
  - ⑤ ファームスに民間投資を呼び込むとのことだが、こういった内容か。
- 村長**
- ① 民営化に対する不安より期待の方が大きいものと受けとめている。
  - ② 民間活力を生かしながら地域の活性化に繋がるよう連携していく。
  - ③ 組織を見直す。各課が横断的に連携し、少子化となっている根本的な原因をつかみ総合的に対応できる組織に取り組み。
  - ④ 村の5か年計画である実施計画及び

### 観光行政について

質問

財政計画に基づき、予算編成を行っており、今後は、事務事業評価により、事業効果や効率性を検証し、事業の取捨選択を行い、特定財源の確保に努める。

- ⑤ 民間業者に運営と新施設の整備に向けて意見を聞きながら、効果的な施設になるよう進めていく。
- 村の観光行政の大きな転換期となった観光施設の民営化だが、地域に根ざした観光地域づくりには行政の役割は大変大きい。
- ① 観光施設民営化後の運営業者との連携、協力、支援など、村の活性化にどう取り組んでいく考えか。
- ② 事業譲渡、資産譲渡に関し、村民に向け説明が必要と思うが。
- ③ 馬曲温泉民営化の進捗状況は。
- ④ グリーンシーズンの取組みは。
- 村長**
- ① 情報発信や運営事業者や他の関係者との連携を進め、村全体に効果が波及できるように調整を進める。
  - ② 契約書では10年間の事業継続と、10年間の土地利用の継続を交渉に盛り込むことで最終協議中。
  - ③ 優先交渉者が決定してないため、募

### 農業行政について

質問

集再開に向け、4月1日から一時休業をさせていただき、運営再開は、早くても5月以降になる予定。

- ④ 民間譲渡施設の夏季事業に期待。EBIKEを中心としたアクティビティの充実。カヤの平高原のキャンプ場やロッジを一体的な運営で、施設を最大限活かした事業展開を図る。
- 湯本産業課長**
- ③ 施設の廃止ではなく、施設をいかに継続させていくか、最大限民営化に向けて検討していきたい。
- ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などを背景に、肥料・燃料等、農業用資材や飼料価格の急騰は農業経営に大きく影響を与えている。
- ① 農家の経営支援をどう取り組むのか。
  - ② 施肥の適正化や肥料コストの削減のための対策を考えているか。
  - ③ 堆肥センターは2026年廃止計画であるが、検討中の代替案は。
- 村長**
- ① 国や県の事業や対策等を見ながら検討していく。
  - ② 緑肥の効果試験費を予算化した。
  - ③ 密閉型方式での継続はしない方針。どのような形で継続できるか検討中。
- 新地方公会計について**
- 質問**
- 現公会計は「現金主義・単式簿記」を採用しており、その補完として、財政の見える化の取組みである新公会計

制度の統一的な財務書類4表が公表されている。しかし、令和3年度の決算財務諸表は、未だ公表はされていない。結果として翌年度予算への分析結果を反映させることができない。本来決算報告時に4表ができてしかるべきだ。

改善には、業務の平準化が図れる複式簿記の導入を提案してきた。新地方公会計統一基準による地方公会計整備については、財政の状況が厳しさを増す中で、財政の透明性や説明責任の透明性が高まったことにより、固定資産台帳の整備と複式簿記導入が必要不可欠であること等が基本的にある。

- ① 下水道特別会計が法適用企業会計に本年度から移行となるが。
  - ② 財務諸表4表の作成状況と活用方針は。財務書類から財務状況の評価は。
- 小松建設課長**
- ① 資産を含む経営状況を的確に把握し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む必要がある。
- 丸山総務課長**
- ② 決算年度の翌年度末までに作成し、資産・負債などのストック情報や行政コスト、減価償却費等を把握し、資産債務の適正管理や有効活用など、中長期的な視点に立った自治体経営に資するもの。住民1人当たりの資産額及び歳入額対資産比率が類似団体平均に比べ小さく、資産が少ないことにより減価償却費も少ないため、1人当たりの行政コストも少ない。将来世代負担比率は、類似規模団体平均値に比べ大きいものの、住民1人当たり負担額は少ない状況である。



# 木島平村の更なる 発展を期すために

土屋喜久夫 議員

## 村長選挙結果を どう受け止めるか

### 質問

2月5日の村長選挙結果、日墓村長1232票、対抗馬2名合わせて1400票との結果。多くの機会に広聴広報の在り方、声なき声を聞く必要性を説いてきた。この選挙は検証であった。聞く耳持たずと酷評もある。今後4年間、日々の村民の声を聞く機会を作る決意はいかがか。

### 村長

村民の声は重要と認識している。特に「第7次総合振興計画」の策定は、一般村民の参加を考え、各種団体や委員会の機会を考えている。選挙は村民の一番の意思表示であり、結果はしっかりと受け止めたい。

### 再質問

村民の声を聴く機会「心配ごと相談」、委託事業であるが、村民の声を常に受止める機会が必要。村民に直接対応の職員、相談者を増強する必要がある。新庁舎に設置をした相談室の稼働実績はいかがか。

スキー場の民営化の件、「説明と理解の差」より懇切丁寧な理解のできる説明、広報が必要。

### 村長

観光施設等の民営化について、村民理解にむけ、取り組む。

### 山寄民生課長

社協の心配ごと相談は見直しをし、法律相談を設けている。高齢者には地域包括支援センター、子供には子育て世代包括支援センターを設置し相談に対応。

### 丸山総務課長

相談室の稼働実績等の把握はしていない。プライベートを維持、相談室の利用を進めたい。

## 令和5年施政方針から

### 質問

新年度施政方針に、民生、農政、農林高校の存続に向けたコーディネート、ゼロカーボン等見当たらない。

### 村長

すべての村民に寄り添った村政に取り組む。

### 関教育長

コーディネーターの配置が3年目。取組を数値評価はできないが、重要性を更にアピール、支えていきたい。

### 湯本産業課長

多様な農業の振興が必要。国の、

みどりの食料戦略、持続可能な農業を目指し、農薬や化学肥料の低減、有機農業の推進など多様な農業の実践を進めている。販売先の開拓は大変重要。

### 丸山総務課長

庁舎の太陽光発電設備の設置に、事業費1956万3000円で計画、庁舎全体の約30%を発電計画。短期間で回収できる見込み。

### 再質問

村民が今を維持し、厄介にならない心構えが必要。つまずきそうな人をどうケアするかが重要。行政の社会保障ではないか。

米より、畑作物の収益性は高い。更なる基盤整備が必要。

農林高校の話、県も他の学区で統合の動きが出ている。コーディネーターにかかる費用がペイできるのか。

### 村長

介護予防は、日頃の生活の中で向上を図り、振興していくことも大事。木島平米ブランド研究会も、基本は共有し、お互いに品質向上に向けて取り組んでおられる。

### 関教育長

学校の取組を広めて生徒募集に繋がるのが喫緊の課題。農林高校、小・中学校も含めてコーディネーターの活動の充実を最大限発揮したい。

### 山寄民生課長

後期高齢者の健康課題で、健診の

受診率が県平均と比べて低い。腎不全、人工透析の割合が高い。認知症の割合が北信圏域平均より高い。早め把握、健康に繋げていきたい。

### 湯本産業課長

米の需給調整が必要な状況で、収益性の高い畑作への転換は重要。豪雪地の畑作転換は非常に大きな課題。

## 地域コミュニティは 維持できるのか

### 質問

新型コロナウイルスの懸念から、地域力が非常に低下をした。行政サービス需要が増加、行政が対応する状況になる。互いに助け合う意識の醸成、再構築は喫緊の課題である。

### 村長

地域コミュニティの維持は、高齢化が進み重要性が増す。地区の意見を聞き、集落支援員制度も検討。

### 再質問

集落支援員に言及された。集落担当職員が区の事務処理を手伝うか、また、総合計画で集落再編等も考えていくべき。

### 村長

「集落が維持できるか」集落住民の考え方を中心に支援する。役場の職員は、地域コミュニティの中心になるよう期待する。

\*このほか、移住定住施策の在り方について質問しました。



# 下高井農林高校の存続について 令和5年度施策方針の課題は

勝山 正 議員

## 下高井農林高校の存続について

### 質問

岳北地域における農林高校の役割は、次世代を担う地域密着の学びの場であるとともに、農業を中心とした産業や文化を担う人材を育成してきたことから「農業後継者育成の拠点」であると言われてきた。

第2期再編・整備計画が今年度から適用されようとしている（生徒数の減少によりキャンパス化や統合などの再編整備計画が進められてきている）。

①次世代を担う実践的・創造技術者の育成（養成）を目指すには、農業に特化した農業高専もあってもいいのでは。県内外から生徒が下高井農林高校を目指してくるよう、その役割を担っていくべきと思うが。

②先進事例からヒントを得、農林高校の教育内容の充実にも「専攻科」の新設、卒業後の実践に繋がるカリキュラム構築をすること」を協議会で要望書に盛り込むとしたが、その後の状況は。

③本年も農林高校の存続に向け、支援として高校と村民・行政を結びつけるコーディネート者を配置しているが、地域生産者への実習や資格取得のための講習会などの実施は可能か。

### 関教育長

①要求・要望書は、県教育委員会に3回提出されている。岳北地域の高校の将来像を考える協議会では、県教委に対し、岳北地域における高校教育の在り方について、意見・提案を行った。その意見・提案が令和2年3月付県教委の高校改革の編成・整備計画（第1次）の冊子に綴られている。魅力ある高校教育の推進のために、新たな組織を設置すること望ましいとあるが、農業に特化した農業高専は盛り込まれていない。「農林高校が魅力ある学校であることを広く知ってもらおう」「農林高校で学びたい生徒が確保できる」ことを第一としている。

②県教委への「要求・要望書」には、「専攻科」を設けることが盛り込まれているが、現在、実現には至っ

ていない。引き続き要望していく。③地域連携コーディネートは、実習や資格取得に関する資格がないため、指導（講義）はできない。

## 令和5年度の施政方針について

### 質問

①飯山日赤と北信病院は、不可欠な総合病院である。安定的な経営のために財政支援を引き続き行うとされているが、高齢化が進む中で安定的な経営だけでなく、地域医療の重要な施設である。コロナ禍であつても、緊急を要したときにはしっかりと対応（治療）するため支援だと思ふ。

②遊休荒廃地対策として、そば振興で耕作面積を増やし、特産化を進めるとしているが、採算がとれる作物と捉えるのか。

③カヤの平高原の魅力を広く知らせるため、景観の資源化や山岳観光などのほか、広域観光による通年観光を目指すと言われるが、具体策は。

④今期新たに集落支援員を採用予定だが、地域おこし協力隊との違い

は。また、任期途中で隊員を辞職され村内企業に就かれる方もいるが、採用に問題はなかったか。

### 山寺民生課長

①飯山日赤と北信病院は、地域の重要な医療機関。安心して暮らせる医療機関の役割を、引き続き担っていただけるよう要請していきたい。

### 湯本産業課長

②荒廃防止のため農業振興公社による省力作物として栽培し、農地の維持管理の面もあるため、取り組んでいる。採算ベースに乗せるためには、大規模面積での栽培が必要と考えるが、調布市との交流を持ちながら、複合的な効果を進めていきたい。

③令和5年度から指定管理者を新たに募集し、民間の活力を活かし、キャンプ場やロッジなどの施設を有効に活用した事業展開を図っていききたい。

### 丸山総務課長

④集落支援員は主に市町村職員と連携し、集落の巡回や状況把握等を行い、課題解決に向けて取り組み、実情を熟知した人材を採用することを基本としている。地域おこし協力隊員は、都市地域から過疎地域等への移住定住を目的としている。任期途中の辞職は、問題ない。



# 「にぎやかな過疎村」・神様が宿る村へ

山本 隆樹 議員

## 「にぎやかな過疎村」へ

### 質問

全国で多くの自治体が少子高齢化、人口減少の課題に直面している。即効薬はなく、地道な積み重ねが求められる。

まずは「にぎやかな過疎村」をめざし、すぐには人口増につながらなくても、関係人口を創り上げ、人材を創り上げていくことだと思う。人口は減るが、木島平村とのパイプを持つ人材を増やして「にぎやかに」すること。観光施設の民間譲渡先のSBCメディカルグループから「北信州木島平スキー場」の名称を「スノーリゾート ロマンズの神様」に変える計画があり、シンガーソングライターの大瀬香美さんも「音楽の力で、地域社会を盛り上げる」とコメントしている。「健康の村・美容の村・音楽の村」、なにか「にぎやかな過疎村」の予感がする。

村としての「にぎやかな過疎村」への挑戦、施策はどうか。

### 村長

新たな事業の創出や雇用が生まれ、いくことが地域活性化につながる

と考える。

具体的な施策については、関係人口の創出に向けた移住定住対策や少子化対策、観光を中心とした交流人口の創出の充実を図っていく。

### 再質問

今まで、村で取り組んできた交流事業をマンネリ化せず、磨きをかけることだと思う。

ふるさと応援団木島平会の皆さんとの交流、姉妹都市、調布市民とのグリーンツーリズム（農山漁村に滞在し農漁業体験を楽しむ、地域の人々との交流を図る余暇活動）を含めた交流、観光振興局が地域おこし協力隊と一緒に進めている「SNSでの村の情報発信」「E・B・I・K・E」などのアクティビティ（野外活動・体験）、そして、新たな企画を考え「道の駅の活性化」に取り組んでいくことだと思う。

今年も地元主催「奥信濃100」トレイルランニングレース開催で、1000人強の参加があるように、にぎわせてくれる主催者への支援協力が求められている。

賑わせてくれる主催者への支援をどう考えているか。

### 湯本産業課長

村として大変喜ばしいことだと思う。民間・地元の方でイベントを催して盛り上げていただきたい。主催者への支援、補助金は用意している。相談いただきたい。

### 再々質問

今までやってきた交流事業に磨きをかけることが賑わいをもたらす。トイレの神様を連れてきてはどうか。トイレの神様で磨き続けた結果、美人になったように、村もきつと賑わう。そして、野球の村神様も連れてくる、そんなノリでロマンズの神様・木島平村を「にぎやかに」しては。

### 村長

いろんな関係人口等、交流を広め、声をつないでいくことが可能性につながると思う。

## ジャンプ台施設の今後は

### 質問

ジャンプ台は平成9年（1997年）6月に設置され、26年経過している。（財）全日本スキー連盟公認、スモールヒル1基（K点35m）、ミディアムヒル1基（K点65m）、クラブハウス、飛型審判塔、駐車場が

作られた。総事業費として、7億7000万円かけられている。

今年の1月には、SAN公認25回木島平ジュニアジャンプ大会、45回長野県スキー大会週間が開催され、使用されている。

今後、老朽化対策もあり、維持管理、大会の誘致等、どう対応されていくのか。廃止も視野にあるのか。

### 高木生涯学習課長

今後の継続には圧雪車の更新、不具合箇所の修繕等、大規模な経費がかかることが想定される。建設から26年経過し、オリンピッククメダリストをはじめ多くの選手を育ててきた施設でもある。

ジャンプ台やクロスカントリースキーコースは元来、費用対効果の物差しを当てはめる施設ではない。簡単に廃止することで、それに携わる指導者や施設維持に関わる皆さんの熱意が失われていくことこそが、この地域にとつてのマイナス。

雪国に暮らす子供たちがスキーに親しむことで、その土地に誇りを持ち、将来的な自分の人生に自信を持ち生きていく、そのための教育的施設であると認識。

課題を整理しながら、ジャンプ競技人口の拡大、維持管理の財源確保、運営継続・現状の大会開催の維持に向けて、県や同様の施設所有市町村との連携を更に深めて善処していく。



# ファームス木島平は、あらゆる 選択肢について検討を！

山崎 栄喜 議員

## 村長3期目に当たって

### 質問

- ① 選挙結果に対する感想は。
- ② 公約の具体的な施策は。
- ③ 財政調整基金が大幅に減少する。健全財政に取組む公約に反しないか。
- ④ 施政方針で、少子化対策を最重点課題として取組むとしているが、若者や子育て世代との懇話会の開催は。また、農産物のブランド化により農家所得の向上を目指すとしているが、具体的な施策は。

### 村長

- ① 村に対して、幅広く様々な願いを持つていると感じた。施策をバランスよく取り組む必要がある。
- ② 公約は村政の方向性を示すもの。
- ③ 財政調整基金減少の主な要因は、電気料高騰、岳北広域行政組合負担金増等で公約に反していない。
- ④ 子育て世帯を対象に、アンケート調査を3月中に行う予定。

### 再質問

- ① 予算編成における歳出削減の努力は。
- ② 早急に進めるため、アンケート調査と懇話会を並行して行っはどうか。

- ③ 農作物のブランド化のため、有名な料理家や著名人にコメントを寄せてもらい、SNSなどでの発信は。

### 丸山総務課長

- ① 一般財源ベースでの上限、目標額を定めている。

### 湯本産業課長

- ③ 観光振興局とも連携して情報発信を充実する。

### 島崎子育て支援課長

- ② アンケートの意見を集約、分析し、課題を捉えたうえ懇話会を行う。

## ファームス木島平の 今後について

### 質問

- 補助金の返還を必要としなくなる令和7年3月以降を見据え、新施設の検討を行うこととしているが、
- ① 全国道の駅支援機構が作成した運営改善計画はどうなるのか。
  - ② 施設改修、一部解体が必要な個所とその理由、事業費、財源は。
  - ③ 現時点で運営希望者はいるか。
  - ④ 施設を改修しても、成功するのは容易ではない。
  - ⑤ 指定管理委託料の考え方は。
  - ⑥ 民意をどう受け止めているか。

- ⑦ 費用対効果を見極め、施設の現状維持や廃止も含め、あらゆる選択肢について検討するべきでは。

### 村長

- ① 施設の能力や可能性に関する資料、集客の方向性等は、今後の検討の中で活用する。
- ② 運営事業者の目線で抜本的な改修一部建て替えを検討する。事業費は検討状況により決まる。財源はデジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプを想定している。
- ③ 声をいただいている事業者がいる。
- ④ 同じコンセプトや計画では難しい。
- ⑤ 様々な意見があることは承知している。
- ⑦ 地域活性化、賑わい創出できる施設として検討を進める。

### 再質問

- ① 交付金の補助率は。また、一般財源は最大いくらかけるのか。
- ② 村長にはバラ色の未来が見えるのか。
- ③ 村民の声として、どういう声が一番多いと受け止めているか。
- ④ 村費を多額につき込むことは村民の理解が得られない。あらゆる選択肢について検討を。

### 村長

- ② ③ いばらの道だった。最近では子供たちが楽しめるような場所にしてほしいとの意見も多い。

### 湯本産業課長

- ① 補助率は2分の1。あと過疎債も想定している。
- ④ 多様な人たちが集まる機能も残す中で検討する。

### 再々質問

- (1) 指定管理委託料の期間、支払い期間。金額の在り方は。

- (2) もっと楽しめる場所は否定しないが、施設本来の目的ではない。うまくいく見通しが立たない施設に多額の資金を投入するのは反対。

### 湯本産業課長

- (1) 運営事業者と検討し、明確化する。
- (2) 直売所の売上が上がることが、地域の農産物の販売も上がっていく。

## 移住促進について

### 質問

- ① 先日、ある新聞に「地方移住に興味がある60%」という記事が載った。飯山市のように企業誘致・移住支援事業の支援制度を設けては。

### 村長

- ① 空き家対策として、小規模事業者誘致対策としては考えられる。財源確保を図りながら進めて行く。

### 再質問

- ① 普通交付税は人口1人あたり21万5000円交付される。これを財源に活用すれば良いのでは。

### 村長

- ① 村の財源としては限りがある。